

第 3 章 計画の基本的な考え方

1. 基本理念

手と手がつながり 広がる輪 みんなで作る おもいやりのまち

住み慣れた地域で、人と人が出会い、言葉を交わし、つながりが生まれていくこと。

そして、手と手をつなぎ、助け合い・支え合いの関係に育っていくこと。

地域福祉のはじまりは、そういった少しずつの手と手のつながりだと考えます。

そういった地域福祉の推進を図るため、本市では、平成 25 年（2013）に第 1 次計画である「八幡市地域福祉推進計画」を、そして、平成 30 年（2018）には第 2 次計画を策定し、様々な取組を進めてきました。

また、本市の地域福祉推進に関する基本的な方向性や考え方を示す、計画の基本理念としては、第 1 次計画では「地域のつながりで築く 安心・幸せのまちづくり」、第 2 次計画では「認め合い 笑顔を結ぶ わたしたちのまち」を掲げてきました。

これまでの基本理念においても、「つながり」や「結ぶ」といった“つながること”に関するキーワードを設定し、本市における重要な要素としてきました。

その“つながること”を生み出す重要な取組としての『わたしたちの談話』プロジェクトは、本市における大切な取組に育ってきています。

第 3 次となる本計画においても“つながること”の重要性を踏襲し、地域福祉を推進していくために、さらに人と人とのつながりをたくさんつくっていくこと、そして、その輪を広げていくことを目指し、様々な取組を進めていきます。

そして、ともに助け合い支え合えるような、おもいやりのあふれる心を育むまちをつくっていくことが必要です。住民、各種団体、市、市社協など、みんながつながり、地域福祉の推進に取り組んでいくことを目的として、上記の基本理念を掲げます。

2. 基本目標

本計画では、前頁の基本理念の実現に向けて、3つの基本目標を設定します。

また、住民の皆様とも目指す先を共有できるように、3つの基本目標にはそれぞれ「目指すまちの姿」を設定しました。「目指すまちの姿」が実現できるよう、様々な取組を進めます。

また、本計画においては、誰一人取り残さない社会の実現をめざし、経済、社会、環境をめぐる広範な課題に総合的に取り組む「SDGs（持続可能な開発目標）」の視点をふまえ、基本目標を設定します。

基本目標 1

人権意識と福祉のこころを育て、みんなで活躍できる地域をつくる

目指すまちの姿

みんなが互いに思いやるこころを持ち、さらに、誰もが福祉の活動への参画・チャレンジができるまち。

関連するSDGs



基本目標 2

互いに助け合いながら“安全”に“安心”して暮らせる仕組みを充実させる

目指すまちの姿

福祉の支え合い体制・福祉サービスが充実した、安全安心に暮らし続けられるまち。

関連するSDGs



基本目標 3

優しさがみんなで分かち合える体制を構築する

目指すまちの姿

子どもからお年寄りまで、性別や国籍などにかかわらず、様々な困りごとを抱える人も、求める福祉の支援を誰もが受けられるまち。

関連するSDGs



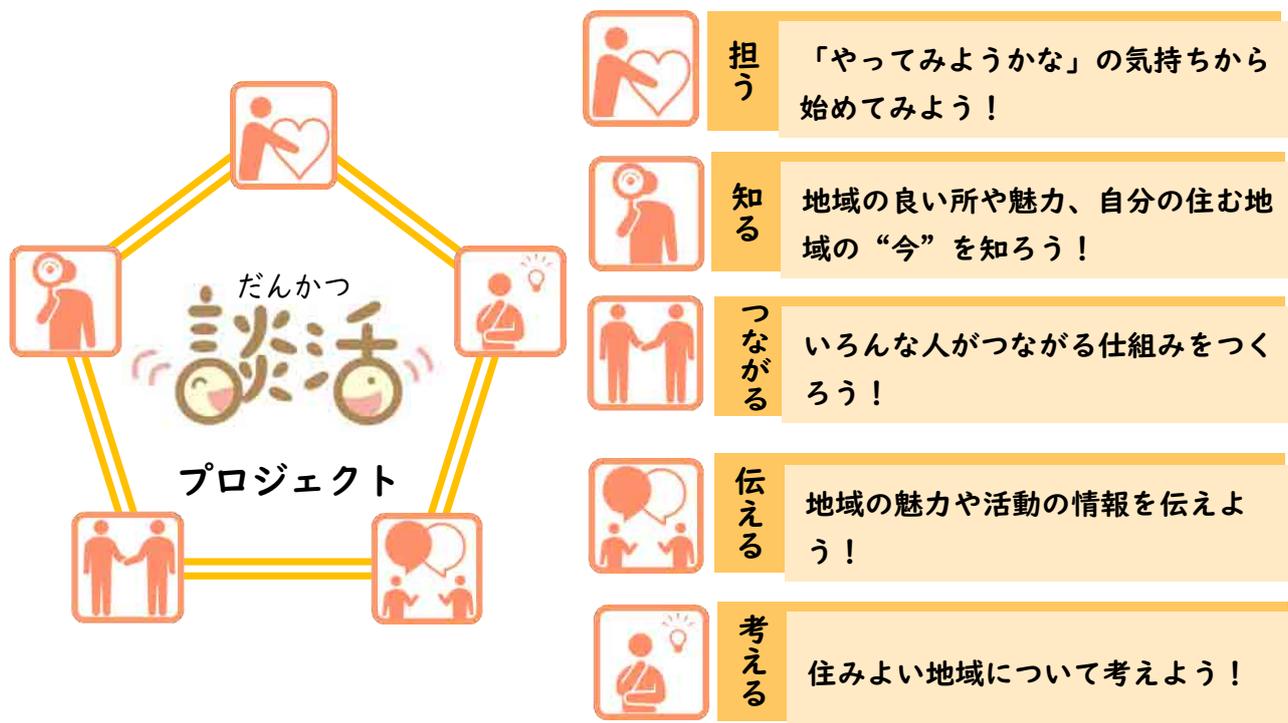
3. 重点プロジェクト

第2次計画で“人”づくり“場”づくりをテーマに「わたしたちの談活」プロジェクトを重点プロジェクトとして進めてきました。「談活」とは、談話・談笑をする座談会を開催する活動のことで、本市独自の造語です。

これまで実施しためばえ、まち、むすびの3つの「談活」においても、それぞれの属性や立場に応じて様々な人が参加することで、たくさんの意見が交わされ、アイデアが生まれてきました。

本計画では、「談活」をさらなるステップアップとして、地域福祉に関わる人を分野や立場、属性などを越えてつなぐ取組として、「談活」を通じた5つの要素をかけあわせた様々な取組を発展させていきます。

そして、それぞれの取組の相乗効果により、多様性を尊重し、「受け手」「支え手」の関係性を越えた「お互いさま」が生まれ、自分らしく活躍できる地域社会を目指す「談活プロジェクト」を重点プロジェクトとして進めます。



5つの要素がリンクした様々な取組に発展することで、



「お互いさま」が生まれる地域社会を目指すプロジェクト！！

「談話プロジェクト」では、住民の皆様の興味や関心に関する談話（談話・談笑する座談会）を、地域での様々な取組に発展させられるよう、5つの要素の相乗効果をいかしてプロジェクトを進め、自分らしく参加し、活躍できる地域づくりを目指します。



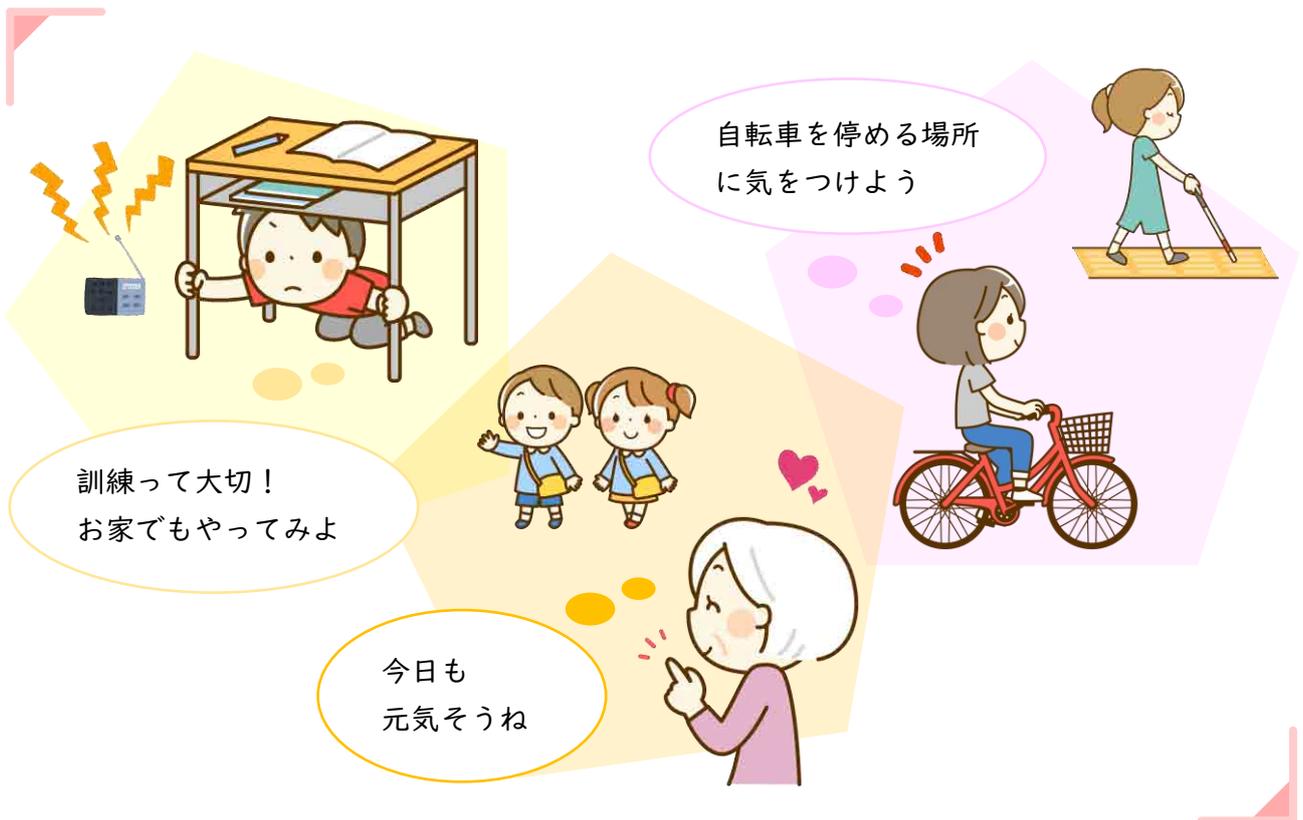
担う 「やってみようかな」の気持ちから始めてみよう！

誰かのために、地域のために「やってみようかな」と思うところから、地域福祉は始まっていきます。誰もが自分らしく活躍できるように、様々な活動や手助けがたくさんある地域になっていくためのきっかけづくりを進めること。それが「担う」の要素です。

| | | |
|-------------------------------|---|--|
| 目指す地域の姿 | <ul style="list-style-type: none"> ・「やってみようかな」を応援する地域。 ・様々な活動や手助けのきっかけをいかすことのできる地域。 | |
| 役割 | 住民の役割 | <ul style="list-style-type: none"> ・自分にできることをいかして、福祉の行動を心がける。 |
| 主役 ・住民 ・ボランティア団体 | 社協の役割 | <ul style="list-style-type: none"> ・「やってみようかな」を活動につなげるきっかけづくりをする。 |
| | 市の役割 | <ul style="list-style-type: none"> ・「やってみようかな」を活動につなげるきっかけづくりをする。 |

GOOD シチュエーション

少しの心がけて、自分の出来る範囲でやってみる





知る 地域の良い所や魅力、自分の住む地域の“今”を知ろう！

地域の課題や現状、魅力、そして地域での活動や活躍する人など、自分が住む地域の“今”を知ることはとても重要です。地域のことに関心や興味を持って、積極的に知っていくこと、そしてその情報を市や市社協から発信していくこと。それが「知る」の要素です。

| | | |
|--|-----------------------------------|--|
| 目指す地域の姿 | ・自分の住む地域の魅力や活動、課題をみんなが知ることでできる地域。 | |
| 役割 | 住民の役割 | ・地域のこと、福祉のことに関心を向ける。 |
|  主役 ・住民 | 社協の役割 | ・地域の情報を共有する場の展開をする。 ・地域活動の支援や啓発をする。 |
| | 市の役割 | ・地域活動の支援や啓発をする。 ・福祉に関する情報などの周知をする。 |

GOOD 
 シチュエーション

地域にいろいろな人がいて、様々な活動や場があることを知り関心を持つ





つながる

いろいろな人がつながる仕組みをつくらう！

誰もがどこかでつながっている地域づくりを進めていくことは重要です。「人と人」がつながること、活動に参加することで「人と活動」がつながること、そしてたくさんのつながりが生まれて、それが広がり大きな輪になっていくこと。それが「つながる」の要素です。

目指す地域の姿

- ・地域の中で心地の良いつながりがたくさん生まれる地域。
- ・気軽に相談できるつながりがたくさん生まれる地域。

役割

住民の役割

- ・地域の中で人とのつながりを広げる。
- ・困ったことを周りの人や支援機関に相談する。

主役

- ・住民
- ・ボランティア団体
- ・自治会、民生委員などの地域活動者
- ・専門職、関係機関

社協の役割

- ・新たな人を活動につなげる。
- ・地域活動や様々な主体をつなげるコーディネートをする。

市の役割

- ・地域がつながるプラットフォームやネットワークの構築をする。

GOOD シチュエーション

地域の中で、いろいろな人や場、活動と自分に合った形でつながる





伝える

地域の魅力や活動の情報を伝えよう！

地域の活動にみんなで取り組み、困った人がいるときにみんなで助け合える地域づくりは重要です。地域の情報をみんなに伝えて共有し、様々な方法で発信をしていくことはその第一歩となります。それが「伝える」の要素です。

目指す地域の姿

- ・SOSが発信でき、それに対して支援の声をあげることのできる地域。
- ・地域での活動の情報、魅力を知って発信できる地域。

役割

住民の役割

- ・自分ができることを伝える。
- ・困ったときにはSOSを発信し、受け取ったときには、専門機関などにつなげる。
- ・地域活動やボランティア活動、地域の魅力を発信する。

社協の役割

- ・地域活動やボランティア活動について情報発信し、その取組を支援する。

市の役割

- ・地域活動やボランティア活動の情報を発信し、啓発する。



主役

- ・住民
- ・ボランティア団体

GOOD シチュエーション

地域について自分が知った情報を話して、伝えて広げていく





考える

住みよい地域について考えよう！

誰もが住みやすい地域をつくるため、たくさんの人で集まって考え、話し合うことが重要です。地域における課題などに対してできることを考え、その気づきを地域づくりにつなげていくこと。それが「考える」の要素です。

目指す地域の姿

・複雑・多様化した課題に対して、様々な分野の主体が連携して受け止めることのできる地域。

役割

住民の役割

・地域をより良くするために、自分ができていることを考えてみる。



主役

社協の役割

・地域生活課題について考えるきっかけづくりを行う。
・包括的支援体制の構築に向けたコーディネートをする。

・専門職、関係機関

市の役割

・包括的支援体制の構築に向けた検討を行う。



シチュエーション

地域や住民の現状や課題について、知り、考え、話し合う

どんなことに困っている人がいるのかな？



住みよい地域ってなんだろう？



話し合っ一緒に考えていこう！



【談話紹介①】笑顔で結ぶ談話写真館



ボランティア体験ゼミナールより



みなさんにっこり
ハイチーズ！



長町・樋ノ口地区より

良いものが
出来上がりました！

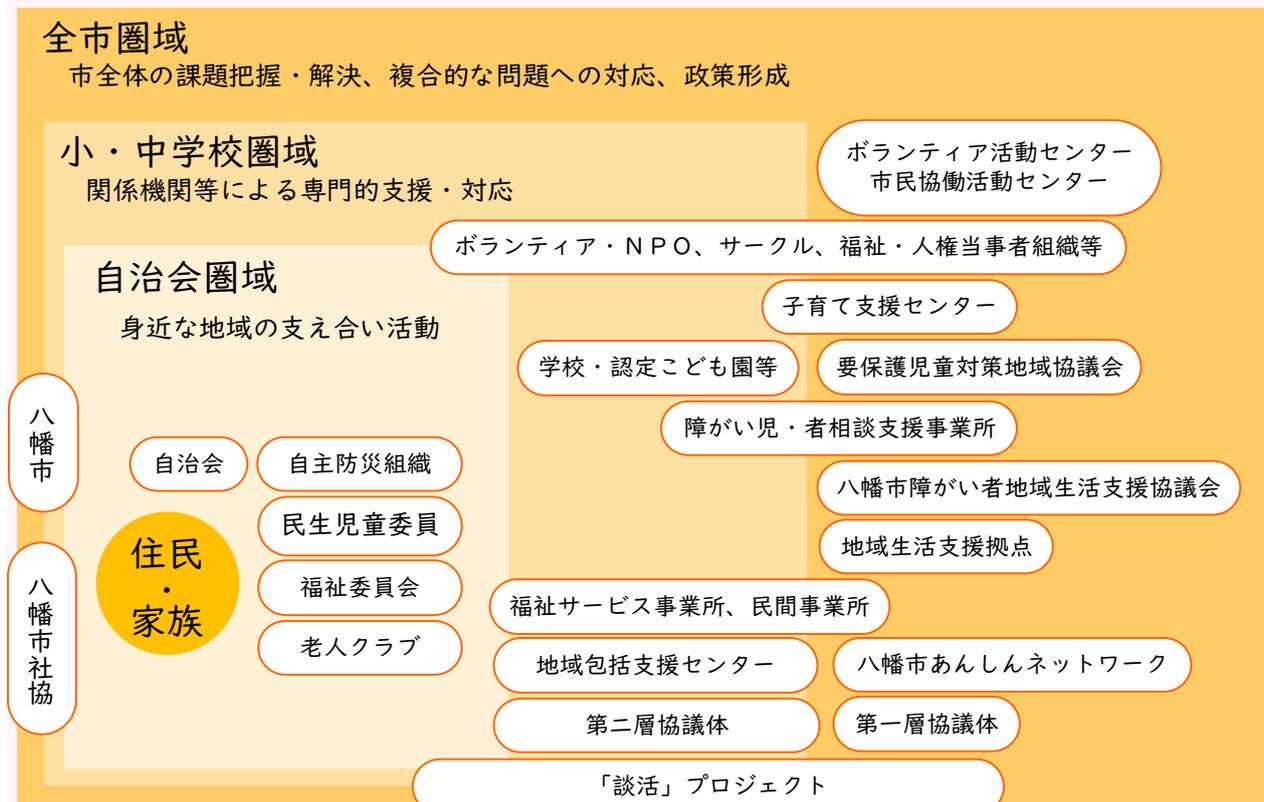


4. 圏域別の課題解決・支援体制

地域における住民主体の課題解決や包括的な相談支援として、圏域別の体制づくりを進め、住民の地域福祉活動などを市や市社協、専門職がバックアップする重層的なネットワークづくりをめざします。

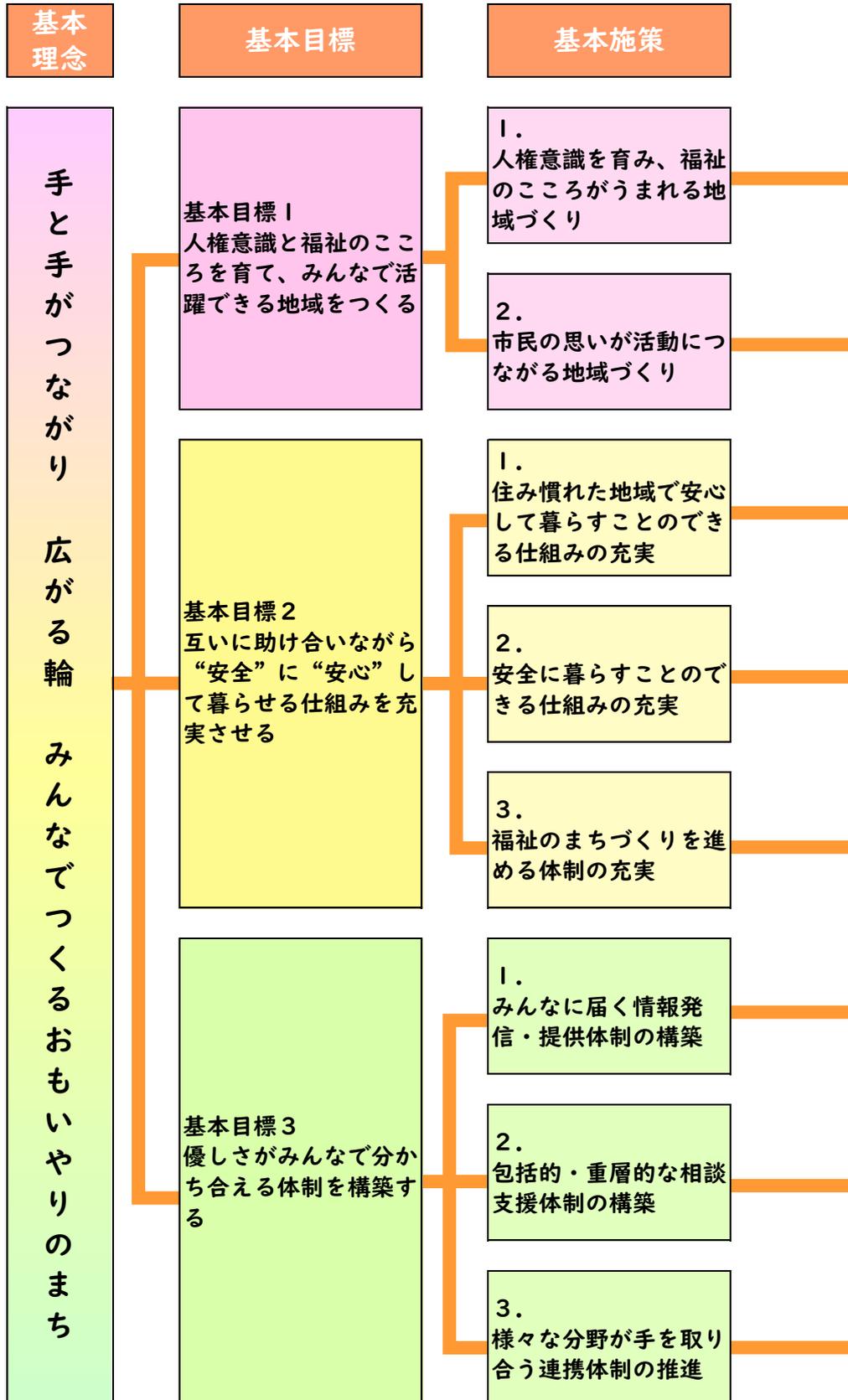
圏域とその役割は、隣近所や自治会などの地域団体による見守り・支え合い活動を行う「自治会圏域」、区域ごとに関係主体が連携して専門的な相談支援を行う「小・中学校圏域」、分野ごとの専門機関、ボランティアなどにおいて市全体の課題把握・解決、複合的な問題への対応、政策形成を行う「全市圏域」とし、取組の推進にあたって市、市社協が連携・支援します。

圏域と地域福祉に関わる取組の関係図



5. 施策の体系

本計画では、下記施策体系に沿って、各取組の推進を図ります。



施策

(1)
福祉に関する生涯学習
機会の充実

(2)
福祉教育の実施と環境
整備

(3)
人権意識の醸成

(1)
市民・団体活動への支
援推進

(2)
交流の促進と活動支援
の実施

(3)
活動実施に向けた環境
整備

(1)
各種福祉サービスの充
実

(2)
権利擁護体制の構築
(成年後見制度利用
促進基本計画)

(1)
地域全体での防犯・防
災対策

(2)
見守り・支え合い体制
の強化

(1)
社会福祉協議会の機能
強化

(2)
バリアフリー・ユニ
バーサルデザインの推
進

(1)
充実した情報提供体制
の構築

(2)
手が届きやすい情報提
供体制の構築

(1)
包括的な相談機能の充
実

(2)
潜在的な課題へのアプ
ローチと対応

(1)
様々な困難や課題への
支援体制の充実

(2)
虐待防止体制の充実

(3)
分野横断的な連携体制
の構築

また、本計画の重点プロジェクトである「談活プロジェクト」は、3つの基本目標を横断的に取り組むプロジェクトとして位置付けます。

重点プロジェクトの関係図

「談話・談笑」は地域福祉にとっての原点であり、とても大切なものであると考えます。

重点プロジェクトである「談活プロジェクト」は、3つの基本目標をリボンで結ぶように、横断的に取り組むプロジェクトです。

